

女良公民館だより

氷見市女良公民館

館長 清水 孝則

今年もコロナ感染防止に配慮しながら、毎年実施している取組をできる範囲で実施したいと考えています。そこで、今年も虻が島に関わる取組がスタートしたご報告と共にこれから予定している取組もご紹介したいと思います。

今年度の「虻が島自然学習体験や虻が島清掃」のお知らせ

7月2日(日)

姿地区「虻が島を守る会」の取組

今年も姿地区の「虻が島を守る会」の皆さんが草刈りやゴミ拾いの活動をされました。虻が島にある貴重な植物と外来種の雑草を区別するという手のかかる作業を慎重に行っておられました。おかげで、今年も灘浦小学校の子どもたちは17日に行われた虻が島学習を安全に体験することができました。

子どもたちは長年、虻が島を守ってくださっている活動を知り、17日の虻が島学習では自分たちも虻が島を守って、いこうとゴミ拾いに取り組んでくれました。

昨年、植樹したクロマツの様子をお知らせします

昨年、県の許可を受け、市が中心となってクロマツ植樹の試みをしてくださいました。その際、灘浦小学校の4年生(現5年生)が植樹に参加してくれました。そのクロマツは現在29本元気に生長しています。雨風や海水にさらされながらも、大きいものは59cm、樹の周り3.8cmに成長し、しっかり根を張っていました。虻が島の景観を守る木となるまでには、まだまだ長い時間がかかりますが、虻が島に訪れる機会をいかして生長の様子を見守り、地域の皆さんにお知らせしたいと思います。



7月17日(海の日)

灘浦小児童参加による「虻が島自然観察体験と虻が島清掃」



天候と風の影響で2日間の延期を余儀なくされましたが、「虻が島自然観察体験と虻が島清掃」が無事実施されました。植物については自然保護員会長の関一朗さん、生き物などについては高岡生物研究会会長の泉治夫さんが実物を提示して、わかりやすく教えてくださいました。今回は高岡生物研究会の方々も数人加わって頂いたおかげで「クロシタナシウミウシ」「ムラサキウミウシ」などにも出あうことができました。虻が島の生き物の豊かさを実感しました。

また、船上からは、地区の地層の違いがはっきり見えたり、石動山や高坂山など地区の景色を海から眺めたりでき、日ごろ見る機会の少ない景色に出あえるよい機会となりました。

今後、市自然保護員、ボーイスカウト、氷見ロータリークラブなどの各種団体が虻が島清掃と観察に来島される予定です。このような取組について地区の皆様にもご協力頂ける機会を模索したいと思いますので、その折にはご協力お願いします。